様式３

会　　議　　録

会議名 （審議会等名）		相模原市情報公開・個人情報保護・公文書管理審議会 第２３回特定個人情報保護評価専門部会		
事務局 （担当課）		総務局情報公開・文書管理課情報公開班 電話０４２－７６９－８３３１（直通）		
開催日時		令和８年２月２４日（火）　午前９時３０分～午前１０時２０分		
開催場所		会議室棟地下１階音響室２		
出席者	委　員	３人（別紙のとおり）		
	その他	５人（介護保険課副主幹、同主任、同主事、ＤＸ推進課主査、同主任）		
	事務局	２人（情報公開・文書管理課長、同総括副主幹）		
公開の可否		□可　■不可　□一部不可	傍聴者数	―
公開不可・一部不可の場合は、その理由		審議内容が相模原市情報公開条例第７条第５号に該当することから、 相模原市審議会等公開基準第２条第１項第１号に基づき、非公開。		
議　　題		１　諮問事案に係る調査審議について （１）介護保険事務に関する特定個人情報保護評価について ２　その他		

議　事　の　要　旨

1　諮問事案に係る調査審議について

（1）介護保険事務に関する特定個人情報保護評価について

実施機関である介護保険課から、資料に基づいて説明があった後、質疑応答が行われた。

（樋笠委員）しきい値の数字の問題であるが、sheet１は人数が５３０人と９人少なくなっており、この数字のずれは何なのか。データを確認してもらいたい。しきい値としては５００人以上であれば、問題はない。

（介護保険課）数字を確認してお答えしたい。

（樋笠委員）リスク２として権限のないものの不正使用について、ＩＣカードによる認証によって防ぐことができると考えられるが、リスク１として目的を超えた不正使用があり、これはＩＣカードによって防ぐことができない場合に当たるところ、職員への教育を行っているとなっているが、認証が受けられる者に対し、別の教育を行っているのか。

（ＤＸ推進課）システムを取り扱う職員に対しては、不必要にシステムを操作しないように伝え、不要なアクセスをさせないようにしている。介護保険事務においても、様々な個人情報を参照することはあるが、自らの事務に関する操作以外の操作は行ってはならないものと考えている。

（樋笠委員）このような操作をしてはいけないのは人として当然であるということか。

（ＤＸ推進課）通常の業務において不適切な操作をしないように、日頃の事務や研修において指導を行っている。

（樋笠委員）１年に１度パスワードを設定することになっているが、パスワードを廃止して改めて新たなものを設定し、使用できる職員の制限をかけているのか。

（介護保険課）委託先は、特定の個人が同じＩＣカードを使用する中でそのように運用している。一方で、職員はパスワードを３ケ月に１回変更している。

（樋笠委員）リスク２の「ユーザ認証の管理」の「具体的な管理方法」における「中間サーバーコネクトにおける措置」の③になるが、「３ケ月に１度、不適切なパスワードの利用の禁止」となっているが、言い回しとして適切ではないものと考える。例えば、「パスワードの不適切な利用がないかを確認する」や「適切な利用がなされているかどうかを確認する」という表現が正しいと考える。

（介護保険課）表現を検討し、適切な表現に修正したい。

（樋笠委員）システムをオフラインで利用することはよくあるのか。

（ＤＸ推進課）オフラインは媒体によるデータ連携を行うときに切り替えるが、このようなことはあまりなく、ほとんどがオンラインの状態で利用している。中間サーバでは、国が一部を副本として登録している。

（慎部会長）１６頁の入手方法について、紙に丸がついているが、どのように入手

するのか。

（介護保険課）介護保険の認定申請は、紙ベースで提供を受けている。これを電子データとしてシステムに入力している。このデータを、庁内連携システムや情報提供ネットワークシステムにより画面上で確認している

（慎部会長）３２頁の確認については、複数人による確認しているとなっているが、具体的にはどのようにしているのか。

（介護保険課）委託先のマニュアルにおいてそのように明記している。

（慎委員）自分のミスについては、自分ともう一人で確認し、ヒューマンエラーを少なくしなければならない。

（樋笠委員）１９頁のサービス検索において、画面での誘導を簡潔に行うとあるが、記入例を画面に載せたりするのか。このようなことは一般論として記載する必要があると考える。

（介護保険課）例えば、電子申請機能はプルダウン方式を使っている。また、数字を１０ケタ入力する場合には、１０ケタ以上は数字が入らないようにしている。市民が最低限の内容を入力できるようにし、自由に入力をすることができないようにしている。

（慎委員）事務の移管により、業務が増え、ヒューマンエラーが起こりやすくなるので、システムによってエラーを防ぐ必要がある。

※介護保険課からの回答

①sheet1

過去の作成者のメモであって、本来削除して提出するものであり、sheet1 を削除する。

②リスク２の「ユーザ認証の管理」の「具体的な管理方法」における「中間サーバーコネクトにおける措置」の③

「パスワードの適正なチェック、有効期限の管理を行い、３ヶ月に１度、パスワードの適切な利用がなされているかを確認し、有効期限切れのパスワードの失効を実施している。」に修正する。

以　上

相模原市情報公開・個人情報保護・公文書管理審議会
特定個人情報保護評価専門部会　委員出欠席名簿
（令和８年２月２４日開催）

	氏　　名	所　　属　　等	出欠席	備　　考
1	慎 祥揆	東海大学情報理工学部コンピュータ応用工学科教授	出席	部会長
2	樋笠　尭士	多摩大学経営情報学部准教授	出席	副部会長
3	川島　邦文	弁護士	出席	